

回復期リハビリテーション病棟 診療実績

○疾患別内訳

退棟患者数 2025年7月～2025年9月(3か月間)

疾患区分		退棟患者数
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷(わんしんけいそうそんしょう)等の発症後もしくは手術後、または義肢装着訓練を要する状態	11人
1*	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷の場合	1人
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または2肢以上の多発骨折の発症後、または手術後の状態	18人
3	外科手術または肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	0人
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靱帯損傷後の状態	0人
5	股関節または膝関節の置換術後の状態	1人
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患または手術後の状態	0人

○実績指数

退棟患者数 2025年4月～2025年9月(6か月間)

実績指数とは、リハビリの効果を測る指標の一つです。退院した患者さんについて、入院時と比べてどのくらい回復したかを点数化し、それに要した入院期間を所定の計算式に当てはめて算出します。厚生労働省は「40以上」を基準としており、実績指数の数値が大きいほど、リハビリの効果があったと言えます。

厚生労働省が示す基準	当院の実績指数
40	54